

歴博くらしの植物苑だより

くらしの植物苑観察会 13:30 から くらしの植物苑東屋
4月29日(火) 歴博みどりの日 入苑無料

第109回『新緑の城址公園を歩く』

中川重年(本館研究部客員教授) 城址公園を歩きます。

5月24日(土) 『身近な山菜』 中川重年(本館研究部客員教授)

今週のみどころ <http://www.rekihaku.ac.jp>



今咲いている花

梅、ナバナ、ヤマモモ、シキミ、ヒサカキ、サンシュユ、トサミズキ、ジンチョウゲ、シロバナジンチョウゲ、カンヒザクラ、ソメイヨシノ、ヤブツバキ、椿の品種、ハラン、アマナ、カツラ、シュンラン、シデコブシ、アブラチャン、アンズ、モモ、ショカツサイ

ボケ (バラ科ボケ属)

中国原産の落葉低木。花を觀賞するために庭園に植栽されています。果実は木瓜といわれ果実酒や砂糖煮に使われます。栽培品種は花色に変化があり、果実のできにくいものが多い。

英: Japanese Quince、中: 秋木瓜といいます。



バイモ (ユリ科バイモ属)

中国原産で漢方の生薬として栽培されています。地下に白い鱗茎を持ち、花は下に垂れます。右の写真は花の中が見えるように上向きにしましたが、両性花です。または雄性単性花のもあります。花の内側に網目模様があるのでアミガサユリともいいます。中: 浙貝母といいます。



ハクモクレン (モクレン科モクレン属)

高さ 20mにもなる落葉高木、葉の展開の前に乳白色の大きな花をつけます。中国原産と言われていますが、古くからの栽培で野生地は不明です。蕾も漢方に使われます。英：Yulan、中：玉蘭、白木蘭といます。



シャガ (アヤメ科アヤメ属)

葉は常緑で、走出枝が増えていき、低山地に群生しています。アヤメ属の中で一番早く咲きます。日本のものは3倍体で種子は出来ません。花を次々に咲かせるので気づきませんが一日花です。中：胡蝶花といます。



スモモ (バラ科サクラ属)

高さが 3 mにもなる落葉果樹、春に長い花柄の白い花を咲かせます。果実がやや酸味があることから酢桃といわれました。果実は生食やジャム、ゼリーに用いられます。英：Chinese Plum、中：李といます。



ユキヤナギ (バラ科シモツケ属)

落葉の低木で叢生します。白い小さな花をたくさんつけるのでこの名があります。花束のよく用いられます。中：噴雪花といます。



イチイ (イチイ科イチイ属)

常緑高木で、アララギ、オンコと言う地方もあります。雌雄異株で写真は雌株です。材は加工・保存に優れていて、鉛筆材、彫刻材に利用されます。昔、高官の笏に用いたので一位の名が付いたといわれます。英：Japanese Yew、中：東北紅豆杉といます。

